

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会議の名称	市民会議（第13回合同会議 産業振興分科会）
開催日時	平成18年10月27日（金）午後6時30分から8時30分
開催場所	宇都宮市役所 5階 入札室
出席者	（市民委員）津谷会長，金谷副会長，三尾谷委員，金枝委員，花田委員，佐藤要委員，佐藤竜一郎委員，佐藤弓子委員 （市事務局）
会議内容	・合同会議を踏まえた施策事業の修正 ・提案発表会に向けた準備
会議資料	1. 合同会議時使用資料 2. 施策事業提案発表会プレゼンフォーマット
発言者	発言内容
事務局	本日は，合同会議を踏まえた施策事業の修正，提案発表会に向けて発表事業の絞込みを行います。
市民委員	●重点課題1について ・ フードチェーンの形成よりもまず，商品・産品を開発することが優先である。また，販売ルートの開拓も同時に求められる。従って，安全・安心な地元食材を使った商品開発とその販売ルート開拓が重要事業である。 ●重点課題2について ・ 宇都宮は「食」と「自然」の両方が強みである。両方を活かせる「食・ツーリズムの推進」が重点事業である。 ●重点課題3について ・ 企業の芽を出すことと離陸を支援することが重要である。このため，「起業のための環境整備」が重要。ターゲットとしては，シニア，女性を重点ターゲットとする。 ●重点課題4について ・ 産業の観点から考えると，職業観の醸成は教育分野に該当しており，育児環境の充実福祉分野に該当する。 ・ 産業振興色を出すためには，「宇都宮版ワークシェアリングの推進」が重点であろう。

進行	●重点課題5について ・ 今後の持続可能な中心市街地活性化施策については、「五感に訴えかける仕掛けづくり」が重要である。 ・ 「食べる」を重点化したい。食品のトレーサビリティをしっかりとっている所は、道の駅など売れ行きが好調である。 ・ 餃子に匹敵する新しいものを作り出す必要がある。 ・ 味が説明できる人、食品の良さを説明できる人を育成しなければならない。 ・ 野菜や食だけでなく、都会的な要素も必要である。 ・ 自分で作る、体験できるという要素を入れたい。子供が体験できることが重要。 ・ 世代を超えて楽しめる要素が求められる。 ・ 「見て、触って、香って」という要素。 ・ それでは次回の日程を決めます。11月27日に行います。よろしくお願いいたします。
----	---